

NUPRI NEWS

Nagano Urban Policy Research Institute

長野都市経営研究所

Vol.2

1999.JAN.11

長野都市経営研究所

発行 / 長野都市経営研究所 〒380-0936 長野市岡田町178 長野バスターミナル会館3F TEL026-223-7900 FAX026-223-6166 http://www.nupri.or.jp

発行日 / 1999年1月11日(年4回)

新春
対談

ポスト・オリンピック！ 長野の活性化を目指して

あけましておめでとございます。新年を迎え、心新たにお過ごしのことと思います。

NUPRI NEWS新春号では、NUPRI顧問梅澤忠雄先生と鷲澤正一理事長の対談を、滝澤芳一第5研究部会長の司会でお届けします。「冬季オリンピック開催で世界中から注目された長野を活性化するために」をテーマに、有意義なお話を伺うことができました。これからの研究部会などでおおいに参考にしてください。



長野をより魅力ある街にするために
司会 あけましておめでとございます。いよいよ来年は21世紀。その前年のNUPRI NEWS新春号をこの対談で飾り、新年のスタートを切りたいと思っておりますので、よろしく願います。ではまず、NUPRIの活動とテーマについて、鷲澤正一理事長から一言お願いします。



理事長 鷲澤正一

リンピックを契機にできたエムウエーブも、善光寺と並ぶ目玉になっていますが、見学時間が30分では物足りないでしょう。そこで、大変な資産である松代、周辺の須坂、小布施、飯山、大町、白馬方面までの見どころを含めて、今までの点の観光から、長野を中心とした観光地を面として結んで、観光地を周遊する工夫をして、長野をより魅力的な観光地にしたいと考えています。そして今、長野に足りないのは遊園地です。冬は雪が降るので経営の難しさはあると思いますが、信州博で遊園地が成功したことを考えると、これからの課題の一つとして検討することも必要だと思えます。

観光客も地元の人も歩きたくなる街にしよう

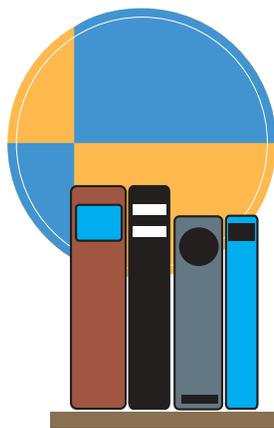
司会 このような私たちNUPRIの思い入れを生かすにはどうしたらいいでしょう。
梅澤 多くの人々がオリンピック後の長野に注目していただく大切です。NUPRIが長野の活性化の源泉となつて、新しい展望を仕掛けなければダメです。そのためには、観光客ばかりでなく、むしろ地元に住んでいる人々に長野の街に出て楽しんでもらうにはいかげじょう。例えば、神戸のルミネリエは400万人もの動員力があります。夜家族やカップルで街に出て楽しむという点で、ルミネリエは大変参考になると思います。仙台や原宿のけやき並木を利用したイルミネーションも、はじめはあれほどの人が集まるとは思っていなかったはず。ここで大切なのは



顧問 梅澤忠雄先生

鷲澤 NUPRIは平成6年11月、長野市を中心に260社会員が参加して設立した団体です。設立の目的は、オリンピックの成功を目指し、オリンピック開催後は長野を活性化するために、さまざまな切り口で活動してまいります。オリンピック開催まではやや強引に活動を進めてきましたが、それがセントラル・スクウェアでの表彰式、一店一店運動の推進など、よい結果につながりました。この成功を踏まえて、オリンピック開催後の長野を活性化するためにNUPRIでできることは何かを考え、連続2週間の早朝会議の結果、いろいろな切り口で10の研究部会と2つの特別委員会を作つて、活動を始めたところです。短期的な目標としては、両特別委員会の事業、すなわちNUPRIが経営に参画しているエムウエーブとセントラル・スクウェアについて、採算を取りながらきちんと経営して、大きな方向性を作っていくこと。長期的な目標としては、10の研究部会がじっくり問題に取り組んで、長野の将来に向けた提言なり行動を起こしていけるかどうかです。もう一つは、長野を滞留型の観光地にすることです。観光の面では、善光寺が大きな存在です。長野新幹線の開業で善光寺の参拝客は増えています。しかし、バスで来るお客様は相減っています。いつまでも善光寺メインだけでは、長野での滞留期間が短いという問題があります。オ

ます長野のライバル都市を選んで、ライバルがやっていることは何かを考え、言葉が悪いかもしれませんが、スパイを送り込んで、ライバルがやったことを電光石火でやり返すこともいいでしょう。デザイナーとのタイアップ、お店とのタイアップを考えれば、都会のファッションで長野に来て、白馬・野沢温泉・志賀高原のファッションを現地



第1回 研究部会活動報告

いよいよ研究部会の活動がスタートしました。部会ごとに活発な話し合いが行われ、研究テーマを確認して活動計画を立てるなど、積極的な動きが見られます。それぞれの部会の活動にご注目ください。



第3部会

第1研究部会 情報インフラの 活用の研究

部会長 北村正博
副部会長 清水 博・轟 和昌
長野オリンピックのときに開設し、大変な利用価値を秘めた「長野市フルネットセンター」の利用・活用方法を探り、広く一般に利用価値のあるものと、知識高揚の場ができるように研究します。そこをアクセスポイントとする「ギガビットネットワーク」も、宝の持ち腐れにならないよう、活用方法の研究と提案をします。また、会員からのアンケート調査を元にして、「NUNET」の再構築にも取り組みたいと考えています。

第2研究部会

関連諸都市及び 地域との連携の研究

部会長 市村次夫
副部会長 土屋修三・松林 毅
広域圏のくくりと長野市のくくり、

その枠組みをどのように考えるかという、テーマのスケール設定と共通点を模索しました。長野市を発信・供給型に、外から見た長野を受信・需要型に、長野市を点にして周辺をどこまで考えて面にするかネットを張るか、長野市の強みを公有化する手がかりを見つけて、交通面での広域的な案内を誰がどこまでするか、生活環境・観光・交通などのテーマに入る切り口など、11のテーマで討議しました。

第3研究部会

コンベンション・ イベント誘致と 活性化の研究

部会長 倉島圭三
副部会長 久保田俊一・二宮慶郎
長野市内でのコンベンション、企業主催の会議、業界・団体が主催する地域大会・全国大会、学会などの催しが目に付きます。そこで、昨年実施したアンケートをもとにコンベンションをリストアップして、エムウエーブ営業部と連携を取りながら誘致営業活動を計画。コンベンション支援事業を研究し、誘致に役立つ資料作成。アフター・コンベンションや一般観光客向けのオリンピックゾーン共通チケットの発行に取り組むことを決めました。

第4研究部会

長野市を中心とした 公共交通網の研究

部会長 岩野 彰
副部会長 夏目 潔・清水光朗
さまざまな視点で長野の交通網を考えたいです。第1回部会には鷲沢理事長

にご出席いただき、地域活性化の研究をしてこられた市川浩一郎さんのお話をお聞きして、自家用車と公共交通機関の関係、交通機関の公共性と経営の問題などについて、活発な意見交換をしました。関連企業や行政からのヒヤリングや視察を重ねて、潤い・優しさ・夢のある町にしたいと考えています。皆様のご意見・ご提案をNUNET、またはEメール(akira_i@vsnep.or.jp)にお寄せください。お待ちしております。

第5研究部会

中心市街地の 活性化問題の研究

部会長 滝澤芳一
副部会長 竹村國彦
長野市が善光寺を中心とする観光都市であること、またオリンピックとい



第5部会

う世界のイベントの発信地であることを忘れずに、長野の風土に合った落ち着いた市街地、顔の見える街づくりをしたいと考えています。そのため、夢のある計画を立て、短期的にできるものと長期的にわたるものに分けて取り組みたいと考えています。必要に応じて見学や講演会を織り混ぜて、都市とは市街地とは何かを考えて、部会を運営したいと考えています。

第6研究部会

小学校統廃合と都市計画の研究

部会長 柳澤一夫
 副部会長 佐々木修司・加藤 誠
 小学校統廃合は大変微妙な問題のため、長野市教育委員会の事務局に当部会への講師派遣と資料の提供を依頼したものの、快諾を得られませんでした。



第8部会

そこで、審議委員として参加しているNUPRIの鷲澤正一理事長と小林俊雄特別アドバイザーを講師として、部会を開催。小学校の統廃合は奥の深い広大なテーマであることを実感しました。しばらくは講師の話ヒアリングしてメンバーの知識を深め、何かを見いだそうと考えています。

第7研究部会

学校・研究機関等研究学園都市作りの研究

部会長 星澤哲也

学校・研究機関等の誘致、少子化社会による社会情勢、昨今の経済、財政状況、農地転換問題、長野市の人口動態など、抱える問題は枚挙にいとまがないことを実感。研究テーマが大きいのので集約には時間を要すると思いますが、民間として行政とは違った切り口で提案するために、地道に歩もうと考えています。また、鷲澤正一理事長からオンラインピクソンの展望や他部会の状況を伺い、他部会との連携が必要であることを痛感しました。

第8研究部会

新産業・アミューズメントの創出による地域活性化の研究

部会長 竹内伊吉

副部会長 掛谷嘉則・中川信幸
 休日の過ごし方やショッピングといった地元の人々のアミューズメント、観光客向けには長野の自然を利用した農業体験滞在型リゾートの提案などの

アミューズメントについて、メンバーそれぞれが企業人の立場で活発に意見交換しました。また、情報提供・収集のためのインターネットの利用率も視野に入れ、大学や高専の先生方のご協力も得て、これから一年半くらいかけてじっくりと方向性を見いだしていこうと考えています。

第9研究部会

中核市(行政の在り方を含む)の研究

部会長 笠原甲一

副部会長 家中 隆

長野市は平成11年4月から中核市への移行が決定。その準備に当たっている長野市総務部中核市推進室長岩倉隆美氏に講演を依頼し、中核市推進室が発行した「中核市制度の概要」とパンフレットを参考にして、地方分権と中核市、中核市制度創設の経緯、中核市制度の概要、中核市に移籍される事務、保健所設置の背景、中核市移行によるメリットの説明をお聞きし、活発な質疑応答を行いました。今後このような形で理解を深める予定です。



第9部会

第10研究部会

オンラインピクソ施設の活用の研究

部会長 山本方俊

副部会長 丸田献次郎・塚田芳樹

オンラインピクソ施設がもたらす長野市の新しいカラーを見いだすことを主眼に、まずナショナル・トレーニング・センターの誘致問題から取り組むことを決定。スポーツ医学の丸山庸夫先生、長野JFCの松本清氏からレクチャーを受けました。現在、国内では青森がトレセン誘致の国内第一候補。長野市ではオンラインピクソ施設の運営予算獲得のためにトレセン誘致を検討中です。そこで、NUPRIからトレセン誘致の声を発信するために、研究を進めていきます。

特別委員会の報告

セントラル・スクエア特別委員会

委員長 藤澤 博

当分は、休日はイベント広場、週日は駐車場としての活用をはかるため、権堂・東後町・西後町・長野銀座、4商店街指定駐車場としました。各商店が買物客に駐車サービス券を交付して一般利用者の反復利用を見込むとともに、近隣商店会の関心強化を期待しています。広告掲示などの収益向上策も検討したいので、よいアイデアがあればご提案ください。(株)セントラル・スクエアの借入金(長野市内金融機関協同融資)は、全額借り換え申し込みを予定しています。また、長野市民に世論調査を実施して、その結果により将来的には長野市公共用地への転用、長野中央通り活性化協議会との連携を考えています。

エムウエーブ特別委員会

委員長 青木恵太郎

NUPRIが(株)エムウエーブの株式を取得したのは、同社の成長と発展を助成することを目的としたものです。その目的達成のために、この特別委員会が組織されました。NUPRIの代表者が同社に出向き、活躍できるよう願っています。集客方法など参考意見を求められた事項については、2、3回の会合で検討しましたが、大量の動員システムや大型企画については、素人の集まりではどうにもなりません。鷲澤理事長の孤軍奮闘にならないよう、NUPRI会員の意見をできるだけ反映させたいと考えていますので、忌憚のないご意見をお寄せください。

で楽しむような仕掛けをするのもいいですね。リゾートで売り出したものが都会に跳ね返ることが望まれていますから。長野に住んでいる人も、街を歩きたいはず。それには、まず作戦を立てるべきです。歩けば街が見えてきます。お祭りや花火のとき、ゆかたを着て街に出るようになれば、ゆかたが売れます。しっかりとしたノウハウをもてば、東京の麻布十番のお祭りのように、多くの人が歩いて楽しめる街づくりができるはず。NUPRIには地元の人々がそろっているから、大いに期待していますよ。司会 これまで観光客のことばかりを考えて、長野に住んでいる人に街を歩かせるという発想はなかったですね。



梅澤 まずは歩きたくなる街づくりですね。それには、いい景色、いい店が必要になる。ひんするも36年たって、いい祭りになってきました。しっかりとプロデュースで繰り返していかねば、いい街づくりができるかもしれません。歳時記のようなものを取り入れるのもいいですね。

低成長の今だからこそのことができることを考えよう

梅澤 低成長の時代は、江戸時代から何度も経験しているのです。飛騨高山の祭りや京都の祇園祭は、今よりもっと経済状況の厳しい時代に生まれました。現在では、東京のお台場や横浜の桜木町界隈に注目したいですね。駐車場から目的地までの道筋に花畑を作って楽しく歩かせ、おなかをすかせたところでランチを食べてもらって、お金をかけない仕掛けをして、車から降りて歩いて楽しむを広げることを考えてみてください。車の場合は、市街地を低速で走らせることもおもしろいですね。もう一つ、ロサンゼルスでは、ダウンタウンのレストランや映画館で「なんでも60%」というシニア料金を設定しています。お年寄りの収入が働いている人の約60%だからです。平日の午後、街に出入りしない時間にお年寄りにゆくり利用してもらえば、お店は従業員を遊ばせることもないという好企画です。長野市の人口38万人は、この企画にちょうどいい規模だと思います。梅澤 今の生活の中では考えにくいことも、今後は考えなければなりません。近ごろ、若者が夜の街に出ても飲食店を利用してないようですが、梅澤 それはマーケティングが欠けているからです。どん

な仕掛けをしたら店に入ってお金を使うか、何を考えて歩いているのかを考えると、そこから始めなければダメです。例えば、若い人の夕食の予算が3000円以下なら、その予算でおいしい食事ができる店を作ればいいのです。アメリカでは、したたかにマーケティングやセグメンテーションをして、それをうまく組み合わせることで成功しています。

発想を変えて、おもろいイベントを考えよう！

梅澤 オリンピックで学んだことは「仮設」のすごさ。イベントには仮設の建物がちよつといいようですね。梅澤 イベントに集まるお客様は、老舗を求めている訳ではありません。だから、流行のものばかりを作り出すことが大切です。今、東京では、10年間暫定の建物がもてはやされています。これも、仮設の力によるものではないでしょうか。梅澤 オリンピックのとき、長野駅の東口をにぎわしたのは、すべて仮設の建物でした。梅澤 仮設だから、ときついてもできる。設備投資が少ないうちから収益を上げやすい。ただし、イベントの内容も含めて、しっかりとやらなければダメです。司会 必要ならば、仮設をつくることも考えられますね。梅澤 それはコンセプトが大事ですね。エムウエーブの長期的な戦略を練らなければ。梅澤 残念なこと、エムウエーブは若干レキシビリティに欠けています。そこで例えば、エムウエーブの前に仮設の街をつくってみてはいかがですか？ 内部は外からは見えないので、建物の周辺にテント村を作って、外からも見えるようにすればおもろいのではないですか？ 外なら消防法に問題があるような催しもできますから、期待感も高まると思いますよ。



梅澤 2002年に日本で環境サミットが開かれると、開催地候補が競争しています。それならいっそのこと、たくさんの方の会議場でテレビ会議をするのもいいと思います。長野ならオリンピックの後、沖縄はサンゴ礁、都市はL3問題をテーマにするなど、環境をいろいろ断面で

切って討論するのもおもろいと思いませんか？ 司会 NUPRIでどこまでできるかが問題ですね。梅澤 アスペンには冬のスキー選手権を皮切りに、年間を通していろいろなイベントをうまく仕切っています。10年ほど前には、札幌の雪祭りを招いて、その翌年からは自分たちの手で雪祭りを開催しています。スキーシーズンが終われば、すべてお祭りです。20日間のデザイン会議、72日間の音楽祭などの実績を積み、情報発信の場になりました。

梅澤 エムウエーブを夏は人工芝にして、大規模なイベントを集めたいと思っています。司会 イベントの成功には、プロ中のプロが必要。とにかく時間がないので、プロのいろいろな発想を生かしたいですね。

梅澤 スピルバーグの映画に端を発し、フジサンケイグループが火をつけた「恐竜展ブーム」がありましたね。同じ恐竜をテーマにして、今年の夏、上野の国立科学博物館では、興業イベントとは違った形で恐竜展を開催して、夏休み親子の人気を集めています。例えば軽井沢なら、昼間、高いコーヒータを飲むだけでなく、夜、見るものをつくるという発想が必要です。京都を例に上げると、銀閣寺をライトアップして昼間とまったく違った趣ある空間をつくり出して、大勢の観光客を集めています。祇園には家族で行けませんが、銀閣寺なら家族連れで行けます。このように、健全な夜の時間をつくらせて、人々を街に誘導することが大切なのです。レストランに夜の銀閣寺のポスターを貼ってPRする作戦も、実に見事なものです。長野も京都に学んで、善光寺をライトアップしてはいかがでしょう。それだけで、街を歩かせる要素が一つ生まれるのですから、それに合わせて、東山魁夷館も夜間営業するというのもいいですね。以前、パリのルーブル美術館のナポレオンの戴冠式の絵の前で、先進国サミットの夜のレセプションが行われました。参加者はまるで自分がナポレオンになったような気分を味わえる好評でした。東山魁夷館や善光寺でレセプションというのも、いい趣向だと思いませんか。このとき、招待客から寄付をいただいたり、東京からディレクターを招待してTVドラマの舞台として使ってもらったのもいい方法です。このようにすべてをぬかりなく仕切ることで、想像以上の効果を得ることが大切なのです。

梅澤 長野の人間は真面目なせいか、なかなかおもろい発想ができないよう。これからはもっと不真面目になつて、いろいろな仕掛けを考えなければいけません。司会 今日はお忙しい中、貴重なご意見をいただきありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。

編集後記

あけましておめでとございます。ご家族の皆様とご一緒に新しい年を迎えられたことと存じます。本年も皆様方のますますのご健勝をお祈りいたします。「NUPRI NEWS」初春号は、顧問の梅澤先生と驚澤理事長の対談で晴れやかに飾ることができました。たくさんのヒントを今後の活動に生かしていただければと思います。(広報委員会一同)

